

くく。

同日、河原町部内能勢布教所設置願

さあくたづねる事情く、さあく事情ねがひとほりくさあくゆるしおかうくく。

明治二十八年五月十四日

城島分教會前通り橋の開通式願

さあくたづねる事情く、ねがひとほりゆるしおかうく。

明治二十八年五月十四日

郡山部内阿保出張所地方廳願に付伺

さあくたづねる事情くすぐとく。

明治二十八年五月十四日

河原町部内攝津國川邊郡中谷村大字廣根百五番地に三ツ谷布教所設置願

さあくたづねる事情く、さあく事情ねがひとほりくゆるしおかうく。

明治二十八年五月十四日

南海部内有田布教所五間半に三尺、三間に五尺、三間に一間、五間に四間一尺、西より東へ板圍の願

さあくたづねる事情、さあくねがひとほりゆるしおかうく。

舊四月二十八日手斧始、五月三日地搦、同二十日石搦、木作り次第棟上願

さあくたづねる事情、ふしん一條さあくゆるしおかうく。

同日、南海部内阿田和布教所四間半に四間半、五間半に三間、二尺に八尺、二間半に二間、右四棟建築願

さあくたづねる事情く、さあく事情はねがひとほりゆるしおかう。

手斧始地搦濟み次第上棟願

さあくたづねる事情く、ふしん一條さあくゆるしおかう。

明治二十八年五月十四日

日本橋部内群馬縣南勢多郡大胡村大字大胡町三十三番地江原初右衛門宅に大胡布教所設置願

さあくたづねる事情く、さあく事情ねがひとほりゆるしおかうく。

同日、日本橋部内群馬縣吾妻郡中之條町七十四番地町田儀平宅に中之條布教所設置願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ねがひどほりゆるしおかう〜。

明治二十八年五月十四日

日本橋部内大間々出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内吾妻出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内甘樂出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内宮郷布教所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内赤坂布教所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内三國布教所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内大崎布教所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内榛名布教所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内利根布教所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内大胡布教所地方廳願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内駒形布教所地方廳願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内中之條布教所地方廳願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内西群馬布教所地方廳願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

同日、日本橋部内勢多布教所地方廳願

さあ〜たづねる事情すぐ〜。

明治二十八年五月十六日

山名部内倉玉出張所静岡縣麻玉郡麻玉村字宮口三百五十四番地の處を二十六番に移轉願

さあ〜たづねる事情〜、さあ事情はそれ〜心一つどうかう事情にまかせおかう。

明治二十八年五月十七日

郡山部内高座出張所新築願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜ねがひどほり〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年五月十七日

山名部内愛知縣下武儀出張所設置願

さあ〜たづねる事情〜、ねがひどほりゆるしおかう〜。

同日、山名部内茨城布教所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情〜、ねがひどほりゆるしおかう〜。

明治二十八年五月十八日午後六時

教長様御身上今一段速かならぬに付御願

さあ〜だん〜事情尋ねる〜、もうたいの事情はそれ〜みんな聞いてもあればしりてもあるやろ、みなしりてゐる、どういふものでみにせまりきる〜、これで大丈夫とおもふ、なれどまだ身上せまる、もう一だんいかなる事と尋ねる、ぜんぜん事情もつてさとしたる處、なるも神、ならぬも神とさしづしたる、これからようき、わけ、どうでもかうでもたすけにやならん、どうでもたすからにやならんが理、中に日々こゝろやむ處よりき、わけ、神はすてるといふ理はない、たすけたいが一つの理、すてる理はなけれどもようき、わけ、日々みんなのこらずかはい理、日々かはいならこそわけへだてないのが一つの理である〜、まあ〜たいせ

つないからだといへば、もう一人とりかやしのならん理である。一つの理がどうもわからん、もうよいかとおもへばまた事情、一時の處はどうもあらうまい、なれどようき、わけ、みの内さはり、どうなつてもかうなつても一つの理、きつてもきれやうまい、はなすにおよばうまい、この身上不足なる事情ようき、わけ、もうどうなるかしらんといふやうなもの、一時の處でこして、遠く處より、道中ながらの事情あざやか、内へをさまり、一夜あくれば自由ならんといふ處をき、わけ、一寸にはいかん、あんじるといへばあんじる、あんじなきといへばあんじなき、しきつた事はどうも一時の理にのべにくい、このばにたちならんだものはみなこゝろの理は一つであらう、ほつておかせんでく。

押して願 (談示の上取り定まりた處を早く運ばして行く事でありませ願)

さあ〜これまでの處、運ぶ〜處、もうながいあひだであつて、どうもみにくくて〜ならん、一つの理によつてそも〜の理、どうもなあ〜、これまでにはこびはこんだみちがなあとおもひおもはした處、かうなつてからはおそいはやいやい、

ワ、、、、、ならんさきにとこれまでにだん〜きかしたる、ならんはやい〜、にち〜さびた理のさびはみがくにみがけようまい、おくれた事情はいそいだ處がさだかならんものや、かなはんものや〜。

おして

さあ〜尋ねかやす處〜、一日〜はやく〜、一日もはやくかうしたならばかうであらうかとおもふ處、理に理のせまりた處、いまだうしようかうしようとまゝのものなれども〜、なにほどの處さとすとも、一時の處いまの處ではみにこたへんといへばあんぜんといへやうまい、二三日の處こゝろをあはせてくれよ〜、つないでくれよ〜。

なにも道はあんぜるやないで、道といふ道はおほきい處もすくない處もない、どんなあぶない處あつてもあんじる事いらん、みな〜せかうちひ〜いたる處、こころにかけぬやう、一時の處なにもくどきはいらん〜。

しばらくして

さあ〜はこぶだけははこぶが理である、ほつておくことはでけん、一つ〜はこ  
んで又一つはなし、みな〜こゝろ一つの理あはせてくれにやならん、みちをさま  
りたらさき〜みちといふ、こゝろえといふ理が第一目にかゝらにやしらん〜と  
いふ理はけす事はできん、身についた理であるからけす事はできん、ようこれだけ  
きいてくれ。

明治二十八年五月十八日

郡山郡内山形市宮町四百二十三番地芳賀榮吉宅に山形出張所設置願

さあ〜たづぬる事情、さあ〜事情はねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年五月十八日

芦津郡内美作國東南條郡津山東町宇西新町五十番鶴山出張所設置願

さあ〜たづぬる事情、さあ〜事情はねがひどほりゆるしおかう〜。

明治二十八年五月十八日

宇佐郡内豊前國中津郡西屋川村九百十七番地屋川出張所設置願

さあ〜たづぬる事情、さあ〜事情ねがひどほりゆるしおかう〜。

明治二十八年五月十九日

陸軍偵兵部より軍資獻納に付明細書差出す儀通知有之に付如何致して宜敷哉願

さあ〜尋ねる處〜、尋ねる事情〜といふは、それは一寸にはどつからとりた  
らよからう、どうしたらよいやらとおもふ、前もつてけんきん、それ名前にして、  
名前なくしてはだせず、教會は一つの元として、理をだした中には、かけてなあ  
〜、うたがひ心といふは、せかいていろ〜こまかうして一つの理をはこぶがよ  
からう。

押して、本部より分支教會の區別をして差出して宜敷哉

さあ〜世界うたがひ心からみれば、どつからどうした、ただ一つの理にはこんで  
しまへばうたがひなきにしもない、前以て一名の名前にして出してある、この道は  
慾もなし、こゝろからでたもの、そこでこれだけたれがどうしたいはずして一名に  
をさめたる、この事情も一つはなしせにやわからまい。

明治二十八年五月十九日午後七時半

分支部會長一同歸部之上教長様御身上に付分支部會運方將來心得事情願

さあ／＼だん／＼と事情はこび／＼、又事情に事情、みなそれ／＼遠く處心事情をもつて、一日の日に尋ね出る處、ようみな一つの事情から心といふ理をもつてくれにやわからん、もうおだやかいかいけば、おだやか心で心をわかさんやう、よう聞分け、みなせつといふ理がある、どういふせつもある、せつ聞いてだん／＼事情できたらせつだけやない、しんの事情になる、しんの事情になりたら取りかやすに取るかやされん事になる、みな兄弟つれもどりたからよう聞いてくれ、長らくの道の事ならどんな日もある、よき日はかりならよいなれど、さう／＼はいこうまい、よう聞分け、つゝしみの心がもとである、明らかといふはつゝしみの心、一とまづはこはきおそろしいといふ日もありた、實は天の理、天の理はまこと一つの理といふ、一度二度三度はみゆるしてある、かはい一條からゆるしたる、なれど心の理よりおこる事はみなかなはん、此道といふ、元はほそい道、處にどうといふものもなし、今

の處やう／＼處々道ひらけたる、是一つだいとして廣めばだん／＼道といふ、是れ迄の處をひらはれ取りはらはれ、どんな事情もありたやらう、なれど今日といふ、みなそれ／＼理のをさまりたるはしんじつだいといふ、よう聞分け、是迄かなんのみちをとほしたる、どんな日もあつたやろ、なんでもといふは、せかい國々それぞれおほく道がついて一つ／＼兄弟のもとをこしらへかけたる、兄弟といふ理を聞分け、人間といふ元々一つの理より始めたる、兄弟なら兄弟といふみがなくばならん、なれど中々兄弟心があはんものもある、みなそれ／＼心より合せてくれ、聞いたるものより合せてやれ、そこで聞いたる理、神の自由用といふ、日々うたがひすつきりはれてこそ理といふ、身の内かりもの、理は日々といてゐる、日々とかしてある、日々世界理をだす、元わからんからみなよせたる、夫々心の理を合すならどんな事もかなはんとはいはん、兄弟といふは今一時さとする理が兄弟の理、なるも神、ならんも神といふ理は、かうといふせいしんを定めるなら受取らんとはいはん、受取らにやならん、受取ればあんしん、みなあらためてさだめてくれ、今の

一時どうならうといふやうにならねばあとの理がわからん、あとの理がわからねばさきの理がわかりさうな事がない、よつくあとくしやんして、みな兄弟さとしあふて定めてくれるがよい。

おして

さあく尋ねる處く、どんな事情もさとしてくれにやならん、うつとしいやうな日でも、又てる事もある、かげばかりやない、是一寸さとしておかう。

前川菊太郎御居宅新築願

さあく尋ねる處く、それは順序といふであろ、さあくぼつく一つく理をはこぶ、是一つになふておく、あちらもかたぶかん、こちらもかたぶかん、かたぶいてはみにもたりやせん、是だけさとしておかう。

政甚東の方御本席御宅にて住居の事情願

さあく是迄の處く、いくへのしやんもつかず、こゝろもさだまらず、日々席つとめ、一つの心といふは、よるくの理にはおもひだし、心をやましてどうもでき

かねたる日もありた、日々おくれくてとんともうわかろかとおもひくとはりた、しゆんくといふ、しゆんにをさまれば末代とさとしおかう、神一條ににごりくもりさらにない、なれど所ようつたへやうによりてくもるがはじまる、くもりては神の道とはいはん、よう聞分けてくれ、道といふはどれからをしへにきたのやあろまいし、元々始めかけ事情より聞分けてくれ、神一條の理はまつすぐなもの、まつすぐなればこそけふの道といふ、一つをさまれば末代の事情、是聞分け、わからんからわからんやうになるもの、もう一つわからんなんだらすつきりわからんやうになる、取りかやしのならんやうになる、是聞分けてくれるやう。

明治二十八年五月十九日

郡山郡内羽前國北村山郡東根村百五番地工藤龜太郎宅に東根布教所設置願

さあくたづぬる事情く、事情はねがひどほりゆるしおかう。

明治二十八年五月十九日

高安郡内泉中出張所開筵式願 (六月一日鎮座式、二日開筵式、信徒へ御酒與へる願)

さあ〜たづねる事情〜、ねがひどほり心だけゆるしおかう〜。

明治二十八年五月十九日

中河部内河内國若江郡八尾村字木戸三十六番地に若江支教會設置願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はねがひどほりゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十一日

郡山部内武藏國南多摩郡川口村字下川口二十四番地川口布教所設置願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう〜。

同日、郡山部内山形縣最上郡新庄村字沼田百四十四番地新庄布教所設置願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう〜。

同日、郡山部内安濃出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はすぐ〜。

同日、郡山部内熊本支教會新築願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情によつて心だけゆるしおかう〜。

同日、郡山部内南部布教所新築願

さあ〜たづねる事情、さあ〜心だけゆるしおかう〜。

同日、郡山部内山形縣西置賜郡長井町大字小出千三百九十二番地長井出張所願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はねがひどほりさあ〜ゆるしおかう〜。

同日、郡山部内山梨縣北都留郡七保村字田無瀬二百五十三番に郡内布教所設置願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十一日

兵神部内三神支教會教祖様靈舎を一間半二間半に新築願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情ねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう〜。

同日、兵神部内攝北出張所御教祖様靈舎一間半二間に新築願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情ねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう〜。

同日、兵神部内字仁出張所擔任玉田龜造死去に付妻に後任せし處家内行届兼ねに付神田惣兵衛に願

さあ〜たづねる處、さあ〜事情一つづいてどうかうとみな〜心の理にゆる



しおかうく。

同日、兵神部内加西支教會信徒の靈祭書毎月八日の願

さあくたづぬる處、さあく事情みな一つ心理に、さあくゆるしおかうく。

同日、兵神部内武川布教所信徒靈祭書毎月六日の願

さあくたづぬる處、さあく事情はそれく一つ心事情の理に、さあくゆるし  
おかうく。

同布教所説教日新十一日の處改めて舊十一日の願

さあくたづぬる事情、さあく事情それくだんじかうと云ふ事情理にゆるしお  
かう。

明治二十八年五月二十一日

東部内本所布教所新築願

さあくたづぬる事情、さあく事情ねがひどほり心だけゆるしおかうく。

明治二十八年五月二十一日

河原町部内豊國出張所福岡縣企救郡小倉町宇船場二番地の地所買入願

さあく尋ねる事情、さあく事情ねがひどほりく、さあく事情ねがひどほり  
ゆるしおかうく。

同日、河原町部内三ツ谷布教所地方廳出願の願

さあくたづぬる事情、さあく事情はすぐとく。

明治二十八年五月二十一日

撫養部内香川縣鶴足郡宇多津村五百七十三番地西隣出張所設置願

さあくたづぬる事情、さあく事情ねがひどほりゆるしおかうく。

同日、撫養部内勝浦布教所を出張所に引直し願

さあくたづぬる事情、さあく事情一つ理、どうかうといふ理によつて、さあ  
くゆるしおかうく。

明治二十八年五月二十一日

北部内伊賀國伊賀郡阿保村字阿保四十八番地に三ツ國出張所設置願

さあ〜たづねるさあ〜事情はねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう〜。

同日、北部内名張郡比奈知村字下比奈知十九番地に比奈知出張所設置願

さあ〜尋ねる事情、さあ〜事情願ひどほりゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十一日

中河部内大阪南堀江下通番外十番屋敷難波津出張所設置願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はねがひどほりゆるしおかう〜。

同日、中河部内國分出張所設置願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はねがひどほりゆるしおかう〜。

同出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はすぐと〜。

明治二十八年五月二十一日

高知部内本川布教所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はすぐと〜。

同日、高知部内森出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はすぐと〜。

同日、高知部内城下出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はすぐと〜。

同日、高知部内阿島出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情はすぐと〜。

同日、高知部内宮崎出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情、さあ〜事情すぐと〜。

明治二十八年五月二十一日

宇佐部内佐川出張所地方廳出願の願

さあ／＼たづねる事情、さあ／＼事情はすぐと／＼。

明治二十八年五月二十二日朝

前川菊太郎副會長選定の願

さあ／＼尋ねる處／＼、まあ／＼どんな談じどんな事情、日々それ／＼心にかゝり、心づかひやう／＼わかりはなしあふ處、尋ねた一條ちやんとみなもどらんといふ精神を定めて尋ねたら、かういふさとしは初めてする、會議／＼といふてはたらいても／＼、用ひてもらはねばはたらきぞんのやうなもの、世界の道はじつをはたらくてあざやか鏡やしきの理もたつ、是迄の處は何をしたんやらといふやうになれば、理のもて行き處はない、かういふはなしは初めて聞くである、これより始めかけた理にもとづき、今迄の人間の心をもつてするから神の理がかかる、うすうなりてからはどうもならん、こんな事情はじめやで、始めかけたらをさめにやならん、まあ／＼一つこれもかうせにやならまいかとおもふやない、みなさしづする、是迄人間の心をもつてするから、もつれ／＼でもちもさげもならんやうになる、これから

始めかける、筆にとめ／＼、筆にとめたら其の理に定めにやならん、夜もねられんほど會議をしても、もちひねばどうもならん、もつれ／＼の理はどうもうけとれん、うけとれんからこまる日がある、とりかやす事てけんやうになりたらどうもならん、まだ／＼だんない／＼と人間のぎりをもつからどうもならん、是迄せき定めだん／＼はなし傳へたる、何程とめても理がをさまらねば受取られん、ふしよう／＼の理は受取れん、ようき、わけ、此もの一人ほつておけん、になひひかへ柱といへば皆一時もつてかうせにやならんとおもふ處、今一時に聞いてさとしする事は一寸にできん、又々しゆんをみてはなし、しゆんがきたならこくげんといふ、こくげんはしゆんをはづさんためのこくげん、こくげんのはなしみな傳へて筆にとめてある、なれどみなはづし／＼てきた、筆にしるしあつてもこれは一寸かうしておかうといふやうではどうもならん、ならんからかういふことになる、刻限もつてのはなし、さしづもちひねば尋ねはいらんもの、今迄の處すぎたるはなし、取りかやしはならん、なんてもかても助けにやならん、助からにやならん、なれど助からんといふはどういふも

の、ようき、わけ、これまで長い道中といふ、どうしようしらんといふやうな日も  
 ありた、さしづこれならちがふまいと、是迄の刻限しらばなるほどかうといふ理  
 もわかるやろ、これわからねばならん、これからはなしする、よう聞分け、みんな  
 それくみなまちくの事情あらためて一時をもつてか、れどもいひにくい、  
 なれどいらんともいひにくい、刻限をもつてさとう、刻限何時ともわからん、  
 筆にとめた理よりたよりにさへすれば何もいふ事はない、なれど刻限のさしづ、ぐ  
 るくまいておいてしまひ、紙のいろのかはるほどほつておいてはどうもならん、  
 そこでこれまでもゑんりよきがねはいらんとつたへたる、ゑんりよきがねは理の  
 あつまらん種である、よるついやした處がなんにもならん、これよう聞いておけ。

押して

第一、只今の御さとしによれば後々談じの點も刻限で御しらし被下哉

さあくまあく尋ねる處く、わからにや尋ねにやならん、わかるまで尋ねにや  
 ならん、ぜんに尋ねだした理はいそいでいそがん、刻限にしらすといふ、あとく

の理はかうといふ事情なら續いてさとうによつて、おもはく通り尋ねるがよい。

第二、本部會計一手の事情

さあくそれはくよくくの理をあつめてくれた、それは十分まつてゐたわい  
 く、おくれてあるからかういふ事になつたのやわい、それはようあつめてく  
 れたく、さあくゆるさうく。

第三、御本席の宅を政甚の名前に切換る願

さあく尋ねる處く、一屋敷くいくへの棟かず、一屋敷くいくへのむねかず  
 く、どうしたさかいにたれのものといふやない、なれど世上世界の理もある、又人  
 間には一名一人の理のあるもの、それからき、わけ、一時尋ねる處どうせいかうせ  
 いとはいはん、どちらへしたところがおなじ事、中にそれくあふあはんといふ理  
 はどんならん、かうといふは理である、せきといふ萬事の處きかせおいて、事情一  
 寸しばらくの處、とびらをひらいてのはたらき、一代ではあらうまい、あとくつ  
 いて又代といふ、あとく代それなくばならうまい、一時一つどうといふ、かた

き理をさとするにはかうならう、けふの日は子供に一つの事情、一寸一日二日三日がはやい、をさまつたらはやくするがよい。

つづいておさとし

もうこれほどなうのしゆんの日がきたるから、はやくみわけき、わけ、かうといへば理をはこんでくれ、一年の間どんなくらうをみせたやらわからせん。

第四、梶本、政枝の事情願

さあ、さしづ、ぜん、のか、り一つ縁談みなさとしたる、たれ、とのゑんはない、あちらつたへこちらつたへ、やれうれしいと理があへば十分のゑんとしらしてある、それが生涯のゑんといふ、一時尋ねる處、將來の理にをさまらねばをさまらうまい、此屋敷十分とおもふた中に、どういふものとおもふやろ、むりといふ理はをさまらんといふ、一つはなしの理になるやろ、神様のさしづならばといふてもあと、事情こしらへばとめるにとめられん、かういふ事になればほどいしてしまふてやれ、あ、いふふうになりてもあと、はしんせつやひ、なるほどとい

ふ、夫婦の中きれたといふ、夫婦のゑんはなくとも互に兄弟といふゑんはむすんでくれ、鏡屋敷、これまで夫婦の中つみのたへもなき日をおくりた、なれど十分ならばかうがよからうとさとしたる、なれどよからうとおもふた理がわるくなる、ふしようにの理はをさまらん、すつきりするがよい、ちばならこそなあといふ、しんせつやひ、互、これが第一である、かうといへばさうするがよからう。

第五、奈良糸様の事情

さあ、これも、うもれたる、うもれたるもうもれさしたのや、かういふみちである、二度三度もはこんでくれるがよい。

第六、山中忠七居室の事情

さあ、尋ねる處、もうこれさき、の日はわかりてある、しれてある、そこできれいな處きらくな處こしらへてやつてくれ、ぜん、のか、り、か、りの道といふ、これたべたいといへばたべさし、のみたいといへばのまさし、ねることできるやよい、日々の日、たいてきらくにしてやつてくれるがよい。

明治二十八年五月二十三日

郡山部内鎌倉布教所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

明治二十八年五月二十三日

芦津部内鶴山出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

明治二十八年五月二十三日

河原町部内根根莊布教所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

同日、河原町部内能勢布教所地方廳願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

明治二十八年五月二十三日

撫養部内山口縣佐波郡佐波村字東野千三百九十五六七番防府支教會設置願（兼任古川太十郎）

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情はねがひどほり〜、さあゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十三日

中河部内島の内出張所を支教會に引直し願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ゆるそう〜。

明治二十八年五月二十三日

中河部内湯淺出張所月次祭臺十六日、入社式臺二十八日、説教日臺一日十二日二十一日、鳴物九つ御紋の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情はねがひどほり〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十三日

南海部内尾鷲出張所三間五尺五寸に二間建物願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情はねがひどほりゆるしおかう〜。

新六月一日手斧始、舊五月十九日地獄出来次第石搗棟上の願

さあ〜たづぬる事情〜、さあ〜事情はさあゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十三日

八木部内三佐布教所地方廳へ出願の願

さあ〜たづぬる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

明治二十八年五月二十三日

山澤みきの身上願

さあ〜たづぬる事情〜、小人事情心得ん尋ねる、事情いかなる事情、小人たる  
どうも心得ん事情じゃなあ、尋ねば一つ事情、どれだけ事情、日々事情である、内  
々一つまあ、かう内々の處、事情身上あんじる處、小人身上に一つたづねた處、いか  
なる事情である、一名二名どういふ事である、一つさとそ、事情あんじる事はいら  
ん、なる一つ、ならん一つ、まい〜一つさとしたる、聞取つてくれ、一時なつた  
と思はんやう、親々定めてくれ〜。

押して願

さあ〜たづね〜にやわからん、いかな事もゆめにしらせあんじおきたる、なる  
ほどこれであつたか、これまでしらなんだ〜、ゆめ〜一つの理、みる一つきく  
一つ、いかな理もさとるであらう。

明治二十八年五月二十五日

山名分教會長諸井國三郎諏訪支教會長兼任の處平村團治郎を支教會長後任願

さあ〜尋ねる事情、さあ〜事情たづぬる一つ〜事情あらためてせいしんの事  
情、せいしんの理にまかせおかう〜。

明治二十八年五月二十五日

南紀支教會副會長に森岡龜吉をする願

さあ〜たづぬる事情〜、みなそれ〜おもふ處の理、心一つの理にまかせお  
かう〜。

明治二十八年五月二十五日

郡山部内名田庄布教所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はすぐと〜。

明治二十八年五月二十五日

河原町部内近愛支教會六間半に二間の事務所建築願

さあ〜尋ねる事情〜、ねがひどほりゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十五日

城島部内吉野郡小川村字小に於て小川布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情はねがひどほり〜さあ〜ゆるしおかう。

明治二十八年五月二十五日

撫養部内勝浦出張所建築願 (教會四間八間、事務所五間半二間、教祖様靈舎三間二間半の願)

さあ〜尋ねる事情、さあ〜事情ねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十五日

北部内細川支教會普請願 (長屋一棟九間三間、地ならし舊五月五日、手斧始五月六日、石搗五月九日、同

十一日棟上、同十四日井戸掘願

さあ〜尋ねる事情、さあ〜事情はねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十五日

平安部内北出張所設置願

さあ〜たづぬる事情〜、ねがひどほりゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十六日 (舊五月三日)

裏筋道路開き壁をすること願

さあ〜長らえて事情、それ〜順序一つの理、心おきなうをさまれば何時なりと〜。

明治二十八年五月二十六日 (舊五月三日)

御本席地所東足達保次郎所有之地所買入に付川筋へ石垣する事御許の願

さあ〜尋ねる事情、をひ〜ぼつ〜かゝるがよい、ゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十六日



明治二十八年五月二十六日

郡山内水戸出張所設置願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜願ひどほり〜ゆるしおかう〜。

兼任山崎徳之助に願

さあ〜ゆるしおかう〜。

同日、郡山内郡内布教所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜すぐと〜。

同日、郡山内用口布教所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜すぐと〜。

同日、郡山内伯耆國久米郡上灘村大字下田中十三番地に於て上灘出張所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情ねがひどほりゆるしおかう。

同日、郡山内布教所擔任吉田喜八に變更願

さあ〜たづねる事情〜、一つそれ〜みなはこんでかう、さあ〜ねがひどほ

りゆるしおかう〜。

同日、郡山内横濱布教所の磯石川仲町四丁目七十一番地に移轉の願

さあ〜尋ねる處、みな一つそれ〜一つ事情、さあ〜まかせおかう〜。

同日、郡山内物部布教所を出張所に引直し願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情願ひどほり〜ゆるしおかう〜。

同日、郡山内山形出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情〜すぐと〜。

同日、郡山内長井出張所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情〜すぐと〜。

同日、郡山内東根布教所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情〜すぐと〜。

同日、郡山内新在布教所地方廳出願の願

さあ〜たづねる事情〜すぐと〜。

同日、郡山部内出雲國神門郡今市村千三百十五番地に雲陽出張所設置願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ねがひどりゆるしおかう〜。

同日、郡山部内石見國鹿足郡木部村字中川二十七番地に西長出張所設置願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ねがひどりゆるしおかう。

同日、郡山部内熊本縣阿蘇郡宮地村千七百五十六番地大塚子一邸宅に阿蘇布教所設置願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ねがひどりゆるしおかう〜。

同日、郡山部内長崎市博多町四十五番地に長崎出張所設置願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ねがひどりゆるしおかう〜。

同日、郡山部内佐賀市松原町十九番地に於て佐賀出張所設置願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ねがひどりゆるしおかう。

同日、郡山部内盛岡市馬町百二十八番地瀬川泰助宅にて岩手出張所設置願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ねがひどりゆるしおかう。

同日、郡山部内陸中國江刺郡米里村字人首百九十九番地に米里布教所設置願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ねがひどりゆるしおかう。

同日、郡山部内陸中國神貫郡内川目村字八木澤三百六十三番地神貫布教所設置願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ねがひどりゆるしおかう。

同日、郡山部内陸中國紫波郡不動村字室置五十四番地紫波出張所設置願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ねがひどりゆるしおかう。

明治二十八年五月二十六日

東部内靜岡縣有渡郡不二見村字駒越に於て不二見出張所設置願

さあ〜たづねる事情〜、事情ねがひどりゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十八日(舊五月五日)朝

教長様御身上の願

さあ〜尋ねる處〜、さあ〜どうもこれ一つしやんわからうまい〜、身上に  
一時これどうならうしらんといふた處、いく〜の理はさとしたる、みなそれ  
〜だんじの理ををさめて事情はこべば成程といへば身上はらく〜なれど、一つ

くの理をおもひ、たれとくのしやんはあらうまい、二人事情のしやん、われも  
おもひおれもおもひ、さきくは何もいふやない、おもふやない、らくくの心を  
一時定めにならん、此理をさとしおかう。

明治二十八年五月二十八日

郡山郡内石見國鹿足郡津和野町田二十番地福増菊治邸宅に津和野布教所設置願

さあくたづねる事情く、さあく事情はねがひどほりくさあくゆるしおか  
うく。

明治二十八年五月二十八日

山名郡内靜岡縣敷知郡新居町宇新居二百九十六番地に濱名布教所設置願

さあく尋ねる事情く、さあく事情はねがひどほりくさあくゆるしおかう  
く。

明治二十八年五月二十八日

東部内横濱市宇吉田町に神濱出張所設置願

さあくたづねる事情く、さあく事情ねがひどほりくさあくゆるしおかう  
く。

擔任を赤坂文七に願

さあくゆるそくく。

同日、東部内不二見出張所地方廳出願の願

さあくたづねる事情く、事情はすぐとくはこぶがよい、さあくすぐとく。

同日、東部内河内布教所大竹清助擔任のまゝ再願の儀伺

さあくたづねる事情く、一度の事情は一つ又事情もつて一つあらためてたづね  
る處、事情さあすぐとく。

明治二十八年五月二十八日

高安郡内攝津川邊郡園田村に園田出張所願 (擔任橋本吉兵衛)

さあくたづねる事情く、さあく事情はねがひどほりく、さあくゆるしお  
かうく。

同日、高安部内河内國錦部郡川上村字寺元三百三十三番地に川上出張所願（擔任富賀作次）

さあ〜たづぬる事情〜、さあ〜事情ねがひどほりさあ〜ゆるしおかう〜。

同日、高安部内安宿部出張所願（擔任池原平七）

さあ〜たづぬる事情〜、さあ〜事情ねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年五月二十八日

北部内大道出張所地方廳の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

明治二十八年五月二十八日

撫養部内宇多津布教所地方廳へ願

さあ〜たづぬる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

明治二十八年五月二十八日

永尾せつ身上より辰枝身上にかゝり兩人速かなれば又々芳枝身上にかかりしに付願

さあ〜尋ねる處〜、まあ〜身の内さへすみやかなればたづぬる事あらうまい、身の内せまるから尋ねる、尋ねる時の心といふはいつ〜生涯さだめるといふなれど、すみやかなれば事情日がたち、月がたち、つい〜わすれる、一度や二度はみなゆるしたるなれど、なんぎささう不自由ささうといふ理はおや〜の心にはないなれど、なんぎするはかはい一條から、かはいといふ理から身上になやみかける、よう聞分け、なれどだん〜天の理にせまればどうもならんやうになる、一時さだめたといふたら、何年たつてもかはらんのが生涯といふ、人がしらんとおもふてもしやんはつくやらう、さあ〜よう聞分け、さあ〜さんげ〜。

明治二十八年五月二十八日

上村吉三郎家内目の障りに付願

さあ〜たづぬる處、身に一つ心得ん事情いかなる事である、たづぬる處一つ事

情、一つ事情よう聞分けてくれにやならんで、まあ一つ處へ、いくへ事情ありて  
く目に見て一つ心、みずして一つ心、この事情一寸わかるまい、身上理から一つ  
くあらため、どんな事もわかる、ようき、わけ、身上事情ありてたづねる、かう  
云ふ事どうとだんじるまで、めんく事情はかずくありてみにくい事情あきらか  
するが事情、事情をもつて一つき、わけ、身上の處なれどくあれどまあしばらく  
くたづねる、まああんじる事いらんと云ふさしづおよんだる處からき、わけ、これ  
からどう云ふ事もめんくふじいといはず、人のふじいふ思ひ、これをさめてま  
だくと云ふ、身上あんじる事いらんく、内々事情一つどうやらうつとしいと  
云ふ處あらためて、さとしたる事情はいつくまでもおなじ事、ようき、わけ、あ  
んじる事いらんく。

明治二十八年五月二十九日

南海分教會所毎月書十三日入社式並に靈祭願

さあくたづねる事情く、さあく事情ねがひどほりさあくゆるしおかう

く。

明治二十八年五月二十九日

東部内神濱出張所地方廳出願の伺

さあくたづねる事情く、さあく事情はすぐとく。

明治二十八年五月三十日

河原町部内周山出張所設置願 (擔任小田原市助)

さあくたづねる事情く、ねがひどほりゆるしおかうく。

明治二十八年五月三十日

撫養部内名東支教會勝浦出張所地方廳出願伺

さあく尋ねる事情く、事情はすぐとく。

明治二十八年五月三十一日夜十時頃

教長様腦のしん痛むに付身上願

さあく事情尋ねるく處、さあく事情尋ねる、心といふはよぎなく心であらう

身、身の處せつなみ一つ事情けふはどうであらう、又あすどうであらう、日々おもふ處、又一時どう、日々であらう、やう、一つ理それ處にてはみなりきまり、だんじ一つほんにさうやなげにやならうまい、一つてならうまい、一つさとするによつてようき、わけをさめてくれ、身上せつなみいつ、まてにはなるまい、是までちやんとすんである、身の内せつなみなげにやたのしみさとす、神一條實ととりて治めてみよ、またしてもくらうは心てくらうしてゐたのや、たのしみ心あらためたらくらうあらうまい、陽氣あすびといふたる、陽氣あすびといふは心ておもたりしてゐたぶにや陽氣あすびとはいへまい、これから心にくやしきありては陽氣ぐらしどころやない、はやくにこれだけわかつたこつちや、わかつたら日々のんだりきたり、いつ、まてたのしみこれ一つき、わけ、一時はやくさとしてくれにやならんて。

明治二十八年五月三十一日

郡山郡内君澤出張所地方廳出願伺

さあ、尋ねる事情、さあ、事情はねがひどほり心だけ事情、さあ、ゆるしおかう。

明治二十八年五月三十一日

城法支教會にて前川喜三郎靈祭を蓋五月十一日願

さあ、尋ねる事情、さあ、事情ねがひどほり、さあ、ゆるそ。

明治二十八年五月三十一日

撫養部内防府支教會地方廳出願の願

さあ、尋ねる事情、さあ、事情すぐと。

明治二十八年六月二日

兵神部内播州加西郡富合村の内常吉村吉田興三郎宅に於て同氏擔任にて富合布教所設置願

さあ、尋ねる事情、さあ、事情ねがひどほりさあ、ゆるしおかう。

同日、兵神部内播磨國加西郡下里村の内王子村前田友藏宅に南加布教所設置願 (擔任西村藤三郎)

さあ、たづぬる事情、さあ、事情ねがひどほり、さあ、ゆるしおか

うく。

明治二十八年六月二日

誠心講部内十市郡多武峰村字百市五百十八番地に多武峰布教所願 (擔任加奥忠三郎)

さあくたづねる事情く、さあく事情ねがひどほりく、さあくゆるしおかうく。

明治二十八年六月三日

兵神部内神福出張所設置願

さあくねがひどほりゆるしおかう。

田尻善助宅西方へ一間六間の増築願

さあくたづねる事情ゆるしおかうく。

明治二十八年六月三日

山名部内足柄出張所擔任缺員に付後任服部新兵衛に願

さあくねがひどほりゆるしおかう。

明治二十八年六月四日

郡山部内岩手出張所地方廳出願伺

さあくたづねる事情く、さあく事情はすぐとく。

同日、郡山部内米里布教所地方廳出願伺

さあくたづねる事情く、さあく事情はすぐとく。

同日、郡山部内神貫布教所地方廳出願伺

さあくたづねる事情く、さあく事情はすぐとく。

同日、郡山部内上灘出張所地方廳願

さあくたづねる事情く、さあく事情はすぐとく。

同日、郡山部内雲陽出張所地方廳願

さあくたづねる事情く、さあく事情はすぐとく。

同日、郡山部内物部出張所地方廳願

さあくたづねる事情く、さあく事情はすぐとく。

同日、郡山部内西長出張所地方願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

同日、郡山部内津和野布教所地方願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

同日、郡山部内佐賀出張所地方願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

同日、郡山部内長崎出張所地方願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

同日、郡山部内阿蘇布教所地方願

さあ〜たづねる事情〜、さあ事情すぐと〜。

同日、郡山部内水戸出張所地方願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

同日、郡山部内土澤出張所地方願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

同日、郡山部内紫波出張所地方願

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

明治二十八年六月四日

北部内岡山支教會高梁布教所設置願 (擔任友野善四郎)

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情ねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜。

同日、北部内下道郡岡田村字岡田百十四番地に下道布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情ねがひどほり〜さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月四日

榊井伊三郎母きく七十一才身上願

さあ〜たづねる處〜、さあ身上これまでなど一つ〜さしづ〜もつて、な





さあ〜尋ねる事情〜、さあこれまではかりがたない理である、刻限〜日柄し  
ゆん〜の理といふ、どうならどうと事情理になつてくる。なつてくるがぜん〜  
一つの理とはなしの理あふかあはんか、どんな理も世界どうでもなつてくるほど  
に、一時もつて一つの理、もう一段といふ、かゝる處何時にてもかゝるがよからう、  
ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月八日

高安分教會敷地所轄地の儀心得まで願

さあ〜事情たづねる處、一つなる事ならどうでもなる、一時一つだんじをさめて  
さとしといふ、きがかりなんのくもなく、事情になるとしつかりきゝとりておけ。

同日、高安部内河北出張所二度目地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情によつて何度事情、何度の事情じやない  
で、はこべ〜ゆるさう〜。

押して擔任分教會長松村吉太郎兼務の儀如何御許に相成る哉伺

さあ〜尋ねる事情〜、よぎなくの事情、なる道を一つはこんで事情ゆるさう  
〜。

同日、高安部内安宿部出張所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情すぐ〜。

明治二十八年六月八日

河原町部内周山出張所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情すぐ〜。

明治二十八年六月八日

城島部内藤並出張所地方廳出願の伺

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情すぐ〜。

同日、城島部内小川布敷所地方廳願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情すぐ〜。

明治二十八年六月八日

南海部内紀伊國西牟婁郡近野村字野中五百九十八番地西谷勝治郎宅に近野布教所設置願

さあ〜たづぬる事情〜、さあ〜事情ねがひどほり〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月八日

旭日部内西紀布教所設置願

さあ〜たづぬる事情〜、さあ〜事情ねがひどほり〜ゆるしおかう〜。

同日、旭日部内大阪北區河内町九十八番邸に天満出張所設置願

さあ〜たづぬる事情〜、さあ〜事情ねがひどほりゆるしおかう〜。

明治二十八年六月九日（舊五月十七日）

御本席御身上の願

さあ〜尋ねる處〜、さあ尋ねば一つ事情もさとしおかう、日々の事である、朝はどうなりかうなり、夜あけたらつとめる〜、どうもなあ事情によつてつとまらん、又つとまらんおもふ中に、事情日々につつてある、心にかゝりて事情一つさと

しおかう、なにほど日々になすれられん、夜さへあけたら一時間二時間あらう、一度千度にむかふやうはたらかしてある、一日の日ゆつくりたのしみ、萬事のものにあたへてある、日々はたらしき事情さして一度どこへ行きてゆつくり、どこへかうしてたつ日、よぎなくつとめにやならん、長い間道すがら今にみれば蝶や花やとみえる心の理、一寸かゝりもうなんでもかでもそだてにやならん、あちらではほしやく、一寸の道のふみとまり、夜もねずにはこんでふりかはつてはならん、たのしみ事情もさとさにやならん、じつと三百六十日、五十日一寸いさゝか、一時間二時間一寸やすめんとおもふ、とほく處へでるとも心に理がわすれられん、これをきゝわけてくれ。

○押して願

さあ〜又事情尋ねかやす處、身にさはりどうであらう、かういふ事で日々おもふ、尋ねばさとしどほり一日の日もゆつくりとどうでござらう、これ一つさとしたらいかなる理もわかるであらう。

明治二十八年六月九日

御本席西宅のかまや立替への願  
さあ〜尋ねる處、こゝぐはいがわるい〜とおもふ處、してやるがよろ〜。ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月九日

普請小屋及木材小屋東隣り地へ持行願  
さあ〜尋ねる處〜、さあどこなりととうぶんの處、あちらへやり、こちらへやるのがしごとや、何にもかまはん、日々のしごとやゆるすて〜。

明治二十八年六月九日

豊田の道路中石橋架する願  
さあ〜尋ねる事情〜、さあ事情たづぬる、一時にまかせたるによつて、何時なりとかゝるがよい。

明治二十八年六月九日

山名部内濱名布教所地方廳出願の伺

さあ〜たづねる事情〜、さあ〜事情すぐと〜。

明治二十八年六月九日

高安部内河北出張所地方廳願

さあ〜尋ねる事情〜、事情によつて何時事情、何時の事情じゃないで、はこへ〜ゆるそ〜。

擔任は松村吉太郎兼任の願

さあ〜尋ねる事情〜、よぎなくの事情なる道を一つはこんで事情ゆるそ〜。

明治二十八年六月九日

北部内島取支教會の處豊岡支教會に附屬して擔任木岡健八郎と定め地方廳へ出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月九日

誠心講多武峰布教所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる處〜、さあ〜事情すぐと〜。

明治二十八年六月九日

山中忠七三間二間半建家の願

さあ〜尋ねる處〜、一寸かりやとうぶんの處、いそいでしてやるがよい。

明治二十八年六月十日

郡山郡内山海出張所教祖様靈舎新築願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情ねがひどほり〜ゆるしおかう〜。

地抹書五月二十二日、手斧始開五月一日、石搗開五月八日、上棟同十日の願

さあ〜事情〜、さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月十三日

若津郡内鶴山出張所建物造作願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情ねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう、ゆるしおかう〜。

右出張所月次祭舊十二日説教新一日十一日二十一日、九つ鳴物願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情〜、さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月十三日

北部内峰山出張所移轉願(峰山町字室二十五番戸へ)

さあ〜たづぬる事情〜、さあ〜一つ事情いかな事情一つかうといふ處、一つ

事情の理、さあ〜ゆるしおかう〜。

擔任岡本百藏と定め管長公添書下り次第地方廳へ再願の願

さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月十六日

郡山郡内御所出張所井戸掘願

さあ〜たづぬる事情〜、さあ〜事情ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月十六日

南海郡内近野布教所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情、さあ〜すぐと〜、さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月十六日

中河郡内錦出張所新築願（教會五間半に八間、事務所五間に二間半、座敷三間半に二間、便所井戸一ヶ所

づゝ願）

さあ〜尋ねる事情、さあ〜事情はさあ〜ねがひどほりゆるしおかう〜。

明治二十八年六月十九日午前

御本席御身上願

さあ〜日々の處〜、さあ〜まあ一日はよい〜、これ日々たつ、なにかの事情どうでもかうでもできにやならん、けふの日はよほどの事情なればこそつとめさしてある、夜分たへるにたへられん、身上に事情ありてたへられんやない、心に事情ありてたへられん、むつかしいして行けばむつかしい、いんきよぶんといふたら、

これでこそいんきよぶんかとをさめてやつてくれ、よる〜のしやんたれに相談するまもなし、一日たち〜はんきもたち、一人の心日々には十分とおもふてくらしてゐる中に、一つこゝろといふをさまらん、どうもなあといふ事情できてからどうもならん、此事情はやく聞分けてやれ。

おして政甚縁談の事情願

さあ〜それはいふまでやない、尋ねるまでやない、おくれ〜おくれた上もおくれた、さしづをもつてをさめるならをさまるなれど、風にさそはれる、よき風にさそはれん、風にさそはれたる理はたへられん、早く一つの道にをさまるなら一日の心のやすまる日があるなれど、とんとどうもならん、よき理にをさまらん、一つの道よき道にをさまらず、そんならさしづといふはいらんものやといふやらう、さしづにとりやう一つの理とりちがひ、それから聞分けるならどんな理もわかる、尋ねてかうといふ、さしづをもつてかうといふ、心をもつてかうといふやさしづはいらんもの、是がたへられん、いらんさしづは幾度尋ねたとておなじ事、理と〜わか

らねばすつきりわからん日がある、これ一つよう聞分けてくれにやどうもならん。

明治二十八年六月十九日

教長様より部下の道の爲熱心者へ金壹千五百圓御下興に相成しに付ては如何致して宜敷哉願 (教長様御全快に付御よろこびとして御手元より壹千五百圓を道のため盡して居るものへお下け下さるに付本部よりも壹千五百圓足して下けるもので御座ります哉、又教長様の分だけでよろしう御さいます哉)

さあ〜尋ねる處〜、まあ〜あら〜の心、あら〜の理がわかりてくれれば双方わかる、双方わかれば又一つわかる、みんないかな理もどんな理もみなわかる、わかる〜ではそらわからん、どうして〜かうして〜、じぶんの心だけ一つせかいの處事情にして、せかいの處みわけ、いかにはたしたものとたぶんある、みわけみわけがみわけにくい、おまいの方何人、その方何人、みわけにくい、あちらの方こちらの方からきく、こちらの方はあちらからきく、さうしてみわけてやらにやならん、たゞいただいたら、ありがたい〜と、いただくほんの心だけにしてく

れるがよい、どういふものもある、たすけにやならんものもある、そのときはそのころをもつてはこんでくれ。

明治二十八年六月二十一日

高安郡内北阿出張所設置願 (阿波國板野郡板西村大字大寺五十九番屋敷)

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情、ねがひどほり〜ゆるしおかう〜。

擔任は石川金藏御許願

さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月二十一日

旭日郡内西紀布教所設置地方廳へ出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情はすぐと〜。

明治二十八年六月二十一日

上村吉三郎身上願

さあ〜たづねる處〜、これまでに何度〜いくたび事情なれど、道なき一つ道

と云ふ、一日なりとくたのしみくやうくの事情、これからながらくと云ふ、一時もつて不足なると思ふ處、めんく心一つである、あるも一つないも一つ、心事情と云ふ、これ一つさとしおかう、心まで身の内ふそく、世上事情あるによつて、はやく事情はこんで、事情はめんくあるも一つないも一つ、これ一つはつさんしたなら又一つ事情、これだけさとしおかう。

明治二十八年六月二十二日

郡山部内龍山出張所擔任池本龜治郎變更願

さあく尋ねる事情く、みんな一つ心あつまつた事情、さあくゆるしおかう。

同日、郡山部内山田出張所東方へ七間半に三間の事務所新築六月二十八日、棟上同三十日願

さあく尋ねる事情く、さあく事情ねがひどほりゆるしおかうく。

明治二十八年六月二十二日

兵神部内南加布教所地方廳出願の願

さあくたづぬる事情く、さあく事情すぐとく。

同日、兵神部内富合布教所地方廳出願の願

さあく尋ねる事情く、さあく事情はすぐとく。

同日、兵神部内神福出張所地方廳願

さあく尋ねる事情く、さあく事情はすぐとく。

明治二十八年六月二十二日

城島部内加藤布教所開五月十五日十六日開筵式願

さあくたづぬる事情く、さあく事情ねがひどほりゆるしおかうく。

明治二十八年六月二十二日

撫養部内徳島縣豊田郡萩原村二百五番戸に西香川布教所設置願

さあく尋ねる事情く、さあく事情はねがひどほりゆるしおかうく。

同日、撫養部内防府支教會普請願(教會十間に五間、事務炊事所三間半に二間、井戸一つ、舊六月一日よ

り始め出来次第上棟願)

さあく尋ねる事情く、さあく事情はねがひどほりゆるしおかう。



明治二十八年六月二十二日

北部内吉野出張所月次祭番二十日、説教日一日、入社祭十日、鳴物御紋の願

さあ〜尋ねる事情〜、事情ねがひとほりゆるしおかう。

舊七月七日御祝の願

さあ〜尋ねる事情ゆるしおかう〜。

同日、北部内勝北布教所入社祭番十五日、説教日番六日、鳴物六つ御許願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情願ひとほりゆるしおかう〜。

舊七月八日御祝願

さあ〜尋ねる事情〜ゆるそ〜。

同日、北部内英田布教所入社祭番十二日、説教日同三日、鳴物六つ御許願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情ねがひとほりゆるしおかう。

舊七月九日御祝願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情ゆるそ〜。

同日、北部内高梁布教所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情すぐと〜。

明治二十八年六月二十二日

高知部内宮崎出張所開始五月十日、毎月番八日月次祭、新一日説教の願

さあ〜たづぬる事情〜、さあ〜ねがひとほりゆるしおかう。

同日、高知部内阿島出張所毎月番五日月次祭、新六日説教日、鳴物御紋の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜ねがひとほりゆるしおかう。

開始閏五月五日に願

さあ〜ゆるしおかう。

明治二十八年六月二十二日

南紀部内紀伊國南牟婁郡飛鳥村字小坂百十五番地丸山常吉宅に飛鳥布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、ねがひとほりゆるしおかう〜。

同日、南紀部内尾張國知多郡龜崎町五百六十四番地に龜崎布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜ねがひどほりゆるしおかう〜。

三三三

明治二十八年六月二十二日

中津布教所を支教會に引直し願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情ねがひどほりゆるしおかう。

明治二十八年六月二十三日

兵神分教會教會に何か違ひがあるので御座いませうか、又疑ふや御座りませんが若い者が一人出ましたのであります、右事情伺

さあ〜尋ねる處〜、どうもこれ日々の中にどうも心得ん、いかなる事情、たがひ〜どうもわからん、はつさんせん、てるもの又はいるもの、うたがふやない、ようき、わけ、てるものもはいるものもうたがふやない、これき、わけ、いくぶんめん〜のもの、又中にとりなほし、かゝる事いんねん、なす事いんねん、やれ〜これ事情はろたか〜、いさんてくればあんじる事はない、どうやろ、はいつたんやろか、めん〜をさめあつかひたづねる、たづねば一つさとしおかう、めん

〜それ〜だんじあうてといふ處一つこれもつておれば、何もふつがふはあろまい、これ一つさとしおかう。

明治二十八年六月二十三日

北部内下道布教所設置地方廳へ出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はすぐと〜さあ〜すぐと。

明治二十八年六月二十三日

河原町部内岐阜支教會地所買入願

さあ〜たづねる處〜、尋ねる事情なり事情にはゆるしおかう〜。

普請一條圖面の通り申上願

さあ〜尋ねる處〜、たづねる處さあ〜事情心にまかせおくによつて、心だけゆるしおくによつて、さあ〜ゆるしおかう〜。

板塀井戸便所の願

さあ〜尋ねる處〜、さあ〜ゆるしおかう〜。

三三三

土持、神殿及事務所手始め、井戸掘、石搗、事務所建前始め、木作り出来次第上棟式願

さあ〜たづねる處〜、心だけ理にゆるしおくによつて、いさんてかゝればゆるしおかう〜。

明治二十八年六月二十三日

日の元講社天満出張所地方廳へ出願の願

さあ〜尋ねる處〜、さあ〜事情すぐと〜。

明治二十八年六月二十四日（舊閏五月二日）

簡降政甚と宮川小梅談の儀双方内々運び致し御本席教長様本部員皆心運方致し結構と申されしに依り御

許被下哉願

さあ〜尋ねる處〜、尋ねる事情はいふまでの事情である、まあ一つかうといふ事情はこび、十分はこぶ事情、ゑんだん一つ、心と〜ゑんつなぐ事情、心と心つないだら生涯といふ、だん〜の道もつてはこぶ處うけとる、又さき〜うけとる、事情けふの日といふはきいておかにやならん、けふの日はくもりなく、理は十

分理である、ことば一つかゝりてくれ、第一心一人心親といふ理おもふ、神といふ理おもふ、おもふはあざやか、おもふは神の理、親の理わすれる事なら道とはいはん、けふといふ〜理はまかせおくによつて、さあ〜まかせおかう〜。

押して、其の通り運ばして貰ひますと願

さあ〜はこぶ一つの理、たゞ一つ理十分つたへて、さういふ事なら生涯さしづは生涯親の理神の理、その理しらねばならん、はこんでけふといふ、しゆんといふ理一時にはこんでくれるがよい。

明治二十八年六月二十四日

郡山部内日登出張所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情すぐと〜。

明治二十八年六月二十四日

中河部内國分出張所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情すぐと〜。

同日、中河部内難波津出張所地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情すぐと〜。

明治二十八年六月二十七日

城島部内吉野郡高見村字不津にて高見出張所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月二十七日（舊曆五月五日）

増野正兵衛身上及お米居所の願

さあ〜尋ねる處〜、身上にさはる、又さはるどういふ事、何がちがふてあらうとおもふ處よう聞分けてくれ、もう是だん〜事情がせはしい、それにまだせはしいすればゆつくりの心はをさめられようまい、こちらにあれば又身の内せはしい、こちらすめばこちらといふ、日々に是めにみえん事にいそがしい、それにまだいそがしい、どんと一つさだめ定めるといふ、はやく〜是迄日々あちらもちよいと、又ちよいと、さあ是からしきりてみんな一つ〜の理をわける、中々の大やくてあ

ろ、みんなみなほつておけばおける事もある、中々ゆつくりの事情もあれば中にはめさへあけばせはしい、たいやくならばたいやくの心をさめてくれ、幾名幾名の事情なら日々はせはしいてならん、そこで身の内はつかひどうしのやうなもの、たがひ〜しあひもせんならんものや、用がかけたらせつかくの事情もハアといふ事もある、なるだけとほく〜いいてぬやう、それ〜やく〜あれば心にうつしてくれ、身の處何もあんじる事はない。

明治二十八年六月二十八日

郡山部内金澤出張所移轉願

さあ〜尋ねる處〜、尋ねる事情〜、じいようの事情、さあ〜ゆるしおかう〜。

明治二十八年六月二十八日

河原町部内多紀福出張所事務所新築願（手斧始七月五日、石搗同十二日、上棟十三日）

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情はねがひどほりゆるしおかう〜。

明治二十八年六月二十九日

郡山部内生駒支教會教祖様普請願(三間に二間、會長中川徳三郎居宅五間に二間、此外石搦石据棟上まで日取の處申上願)

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情、さあねがひどりゆるしおかう〜

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜事情、さあねがひどりゆるしおかう〜

昭和四年二月廿二日印刷  
昭和四年二月廿六日發行



奈良縣山邊郡丹波市町大字三島二七一番地

編纂者 天理教教義及史料集成部

奈良縣山邊郡丹波市町大字三島二七一番地

發行者 中正善

奈良縣山邊郡丹波市町大字川原城三〇九番地

印刷所 天理教教廳印刷所

奈良縣山邊郡丹波市町大字三島二二二番地

印刷者 植田五郎

終

